

断面構成

ルーム層は天井高2.4m、(梁下は2.1m)と、一般的なスケールであるが、グラスルーム層は天井高5mと非常に高く設定している。このグラスルーム層の天井高は、**ガラスで囲われた自分の領域以上に空間の広がりをつめることができる、グラスルーム層で行われるさまざまなアクティビティをまとめあげる、閉鎖的にならない、全体を明るい空間にすることができる**といった具合にさまざまな利点を持つ。また、ルーム層に開けられたヴォイドは、層ごとにずらすことで、ヴォイドが重ならない場所を共用のテラスとしている。このテラスは建築全体で見れば、上下階を接続するものとしてはたらし、各層ごとに見れば、テラスを共有する他の住民との交流が可能な場である。



A-A' Section S=1:100



構造

構造は鉄骨造であり、ルーム層に**フィーレンディールトラスを井桁状に入れる**ことで、グラスルーム層の内部に柱が多く落ちないようにしている。また、階段、EVコア周辺はやや柱を多く落とすことで住空間と共用部を緩やかにわけている。グラスルーム層の外周部には等間隔で柱が配されており、住空間をまとめあげながら外部に緩やかにつながっていく。

